

2026年度一級建築士受験対策講座 — 元試験採点官の総合監修 —

—本講座は、元国土交通省室長で元試験採点官の総合監修により、高合格率の実績を有しており、中央省庁・県庁や我が国を代表する企業、公立大学の社会人の建築士試験対策講座として採用されるなど、高い信頼性を得ております—

講義回数**11**回（厳選演習添削課題**11**題＋応用課題**5**題使用）の本格講座

一級建築士早期設計製図講座

少人数制のライブ講座でベテラン講師による懇切丁寧な徹底指導！

「建築計画力」＋「製図力」＋「計画の記述力」等の徹底指導

1級建築士の設計製図試験では、製図力が重要であるのは無論のこと、**エスキース力（基本計画力）**が最も重要な合格の鍵となってきました。本会の設計製図講座では、特にエスキース力の向上に重点を置くと共に、新傾向徹底分析・完全対応した徹底指導を行います。

合格に必要な製図力と鍵となる建築計画力を徹底養成！

—通学・通信講座ともに同一内容・同一カリキュラムの本格講座！—

試験課題の本質に迫る演習課題の徹底添削で合格を確実にする！（1課題につき複数回添削可）

重点対策 導入講座

- ◆ 「設計」の基礎（建築計画の方法とそれに関連する諸知識の理解・習得）（150分）
- ◆ 「製図」の基礎（RC造の理解・各種図面の書き方の理解・習得）（150分）
- ◆ エスキースの考え方の動画解説（150分）
- ◆ 早期課題（添削指導、WEB解説動画付き）
- ◆ 本会講座総合監修者（元国土交通省室長）による、近年の試験傾向を踏まえた本年度課題の意味と対策についての詳細な動画解説（150分）
 - 近年の試験の傾向と本年度課題の対策 ● 法令集持ち込み可となった法規対策の重要事項

8月開講の 本講座

- ◆ 11課題添削＋応用5課題で、『建築計画力』＋『製図力』＋『計画記述力』等の徹底指導
- ◆ 各課題の可否の鍵となるエスキース上の重要ポイントの詳細な解説動画を配信

オンライン 個別学習相談

Zoom上で、本会の講師が**勉強法についての疑問点**やご受講後に生じたご不明の点、ご質問に、きめ細かく直接個別にご相談に応じます！

講座日程	2026年8月開講
講座時間	（通学講座）前半：9時から17時までの計7時間 （通信講座）課題添削回数10回 ※通学、通信講座共に、受講期間中であれば、mailでの質疑応答の回数制限はありません。
通学教室	土曜日コース：新宿、高田馬場、関西（新大阪駅前） 日曜日コース：新宿、渋谷、池袋、横浜、名古屋、関西（新大阪駅前） 水曜日コース：高田馬場
受講料	こちらをご覧ください

※1) 通信講座の場合は通学講座と同じ課題による通信添削となります。
※2) テキスト代、模擬試験の受験料は受講料に含まれています。

設計製図受験講座の3大特長

特長①：建築計画力の養成

設計製図の試験合格のためには、特に精選された練習課題により、着実な建築計画力を身に付けることが重要な鍵となります。

試験内容が見直されて以降、本会講座では、本試験内容に本質的に近い内容の厳選された演習課題により、高実績を上げています。

特長②：計画主旨記述力の養成

設計主旨の記述について必要とされる知識及び計画・設計意図の主旨を簡潔・明瞭に記述する能力を身に付けるための指導を懇切丁寧に行います。

特長③：完全合格支援システム

当設計製図講座を受講されている方が当設計製図講座を最後まで受講され、当会の基準条件（通信コース：課題提出率80%以上かつ模擬試験の得点85%以上）を満たして、万一不合格になられた場合も翌年度の同講座に限り無料で受講できる合格フォローアップシステムがあります。

合格者から寄せられた声

テクニックだけでなく、エスキースの基本的なポイントをしっかり学ぶことができました！

御社の講座を今回の受験で初めて受講しましたが、それまで受講した講座はどちらかというと、合格のための受験テクニック上のことに重点が置かれていました。御社の講座では受験テクニック上のことに偏ることなく、エスキースの基本的なポイントをしっかり学ぶことができました。また、各課題についての詳しい動画解説もとても役立ち、今回はお陰様で、カド番で合格できました。（通学講座）

課題に応じてどの様に臨機応変に考えるかといった部分も学べたのが良かった！

初受験で何もわからない状態でのスタートでしたが、親切なメール質疑対応や講義を通じて、設計の本質的な考え方など多くを学ばせていただきました。他の資格学校では機械的な解き方を徹底してたたき込むイメージがありましたが、ここでは基本的な進め方に加えて、課題に応じてどの様に臨機応変に考えるかといった部分も学べたのが良かったと思います。また、実務をされている講師のため、実際の設計における考え方も学べ、利用者の動線や使い勝手などを意識しながらプランを進めていけたのが合格につながったと思います。（通信講座）